

はじめに

本シリーズ【大学受験ナビゲーション】は、大学入試合格を目指す皆さんのパートナーとしてその目的地へと導きます。

ここ 10 数年間で大学入試の英作文問題は、従来からの和文英訳ばかりではなく、殊に国公立大学の場合では、自分の意見等を自らの言葉で書くことが求められる「自由英作文」の出題が主流になりつつあります。

そうした高いレベルの英作文の力の獲得を目指すには、きちっとしたステップを踏み、まずは和文英訳に対応できる力を着実につけることが肝要と考え、それにふさわしい問題を精選し、効率よく学習できるように本書を編集しました。

特長と効果的な使い方

1 全体を次の 3 つの PART に分け、学習者の進度に応じて易から難へ進められるようにした。

PART 1 一文法項目別暗唱例文

- ・大学入試問題を解く際に一番役に立つ短文を文法項目別に 1 つの LESSON に 10 例ずつ、計 150 収録した。作成に当たっては Jayna Tokie Tanaka 先生（早稲田大学講師）の御手を煩わせた。まず、これらを覚えることから始め、英文の「型」を身につけること。
- ・各 LESSON 内の例文は中身が互いに関連していて、無味乾燥な文の羅列にならないよう配慮した。さらに、LESSON 末には該当する項目を複数含む 50 語程度の文章（Paragraph）も模範文として示した。

PART 2 一文法項目別基本問題

- ・標準的な和文英訳の入試問題を 150 題選び、文法項目別に配列した。
- ・基本問題の番号は、PART 1 の暗唱例文の番号に連動しており、互いに同じ文法項目を扱っているので、比較・参照しながら学習するとよい。
- ・各 LESSON 末には [Review] として、重要項目確認のための問題を 1 題ずつ収録した。

PART 3 一トピック別発展問題

- ・よりレベルの高い和文英訳問題を 90 題選び、トピック（話題）別に分類した。

APPENDIX—長文和文英訳・自由英作文

- ・巻末付録として、典型的な長文和文英訳問題を 2 題、自由英作文問題を 5 題収録した。さらなる飛躍を目指してトライしてほしい。

2 PART 2・PART 3 の問題を解く際には、まず日本語をよく読んで自分の英訳を実際に書いてみる。その後、[語句][考え方]を読んで自分が書いた英

文と比較する。最後に解答例と [注] を確認するという流れで進める。

- 3 PART 2・PART 3 の解答例は 3 種類あり、①・②は編者が書いたもので、③の [米人訳] は Tanaka 先生の書いたものである。なお、①・②については Tanaka 先生の校閲を受けている。[米人訳]の中には、日本人には気づかない英語の表現が随所に見られて大いに勉強になることと思う。
- 4 英作文の学習で大切なことは、表現の土台となる英語の「型」を良質な英文で確実に身につけ、それを基に書くことである。PART 1 の暗唱例文はもとより和文英訳の英訳例もどれか 1 例を暗唱することをお勧めする。

諸君のたゆまぬ努力により、本書が諸君の英語表現力増進の一助となるものと確信しています。諸君のご健闘を祈ります。

編 者

*本書は弊社版『毎年出る 頻出 英作文』の改訂増補新版にあたります。

CONTENTS

PART 1 一文法項目別暗唱例文 / PART 2 一文法項目別基本問題 (LESSON)	収録ページ (PART 1 : PART 2)
1 基本時制	6 : 68
2 完了形	10 : 76
3 助動詞	14 : 84
4 受動態	18 : 92
5 不定詞	22 : 100
6 分詞	26 : 108
7 動名詞	30 : 116
8 関係詞	34 : 124
9 比較	38 : 132
10 否定	42 : 140
11 仮定法	46 : 148
12 前置詞	50 : 156
13 名詞節	54 : 164
14 副詞節 I—時・対照・原因・理由・結果	58 : 172
15 副詞節 II—条件・限界・譲歩・様態	62 : 180

PART 3 トピック別発展問題
(LESSON)

1 旅行・趣味	190
2 自然・環境	200
3 交通・コミュニケーション	210
4 世界・国際	220
5 教育・学問・読書	230
6 地理・歴史	240
7 健康	250
8 人生・道徳	260
9 言語	270

APPENDIX

・長文和文英訳	280
・自由英作文	283

文法項目別暗唱例文

■ LESSON

- 1 基本時制
- 2 完了形
- 3 助動詞
- 4 受動態
- 5 不定詞
- 6 分詞
- 7 動名詞
- 8 関係詞
- 9 比較
- 10 否定
- 11 仮定法
- 12 前置詞
- 13 名詞節
- 14 副詞節 I
一時・対照・原因・理由・
結果
- 15 副詞節 II
一条件・限界・譲歩・様態

■記号類について

- [→] 参照すべき PART 1 の文法項目・例文番号
 () 省略可能
 [] 言い換え可能
 one's 所有格
 oneself 再帰代名詞

- ☑ 001 Mitsuyo **rides** the 7:45 bus to school.
- ☑ 002 She **arrives** at 8:15.
- ☑ 003 If she **catches** the 8:15 bus, she **will be** on time.
- ☑ 004 She **missed** the 8:15 bus last week, so she **was** late.
- ☑ 005 Mitsuyo **is studying** Chinese in high school.
- ☑ 006 She **was doing** her Chinese homework last night.

- 001 ミツヨは7時45分のバスに乗って通学する。
- ▶ 現在の状態や習慣は現在形で表す。「現在」といっても、述べられている状態や習慣は現在を中心にして過去・未来にも及んでいる。「通学」に対して「通勤」は ride the bus to work となる。
 - ▶ 校舎ではなく勉強をしに行く場としての学校を意味するので school には冠詞がつかない。一方、バスは特定のバスを指すので定冠詞 the がつく。
- 002 彼女は8時15分に到着する。
- ▶ come, go, leave, arrive のような往来・発着を表す動詞の現在形は、現在において確定している未来の事柄を示すことがある。
- 003 彼女は8時15分のバスに間に合えば遅刻しない。
- ▶ 時や条件を表す副詞節の中では、未来のことであっても現在形を用いる。なお、I wonder if he *will* come on time. (彼は時間どおりに来るかしら) の以下は名詞節なので、未来を表す助動詞 *will* を用いる。
- 004 先週、彼女は8時15分のバスに乗り遅れたので遅刻した。
- ▶ 過去のある時の1回行われた動作、過去のある時の状態や過去に繰り返された動作は過去形で表す。
 - ▶ so は直前にコンマを置き、結果を表す節を導く。
- 005 ミツヨは高校で中国語を勉強している。
- ▶ 現在進行中の動作は現在進行形 (be 動詞 + ~ing) で表す。今していることを表すほかに、本例文のようにある限られた期間に習慣的にしていることを表すこともある。
 - ▶ in high school は高校の校舎ではなく、勉強をしに行く場を意味するので冠詞がつかない。
- 006 昨夜、彼女は中国語の宿題をしていた。
- ▶ 過去のある時点でしている最中だったこと、ある期間ずっとしていたこと、一時的な状態や変化などを過去進行形 (was [were] ~ing) で表す。

文法項目別基本問題

■ LESSON

- 1 基本時制
- 2 完了形
- 3 助動詞
- 4 受動態
- 5 不定詞
- 6 分詞
- 7 動名詞
- 8 關係詞
- 9 比較
- 10 否定
- 11 仮定法
- 12 前置詞
- 13 名詞節
- 14 副詞節 I
一時・対照・原因・理由・
結果
- 15 副詞節 II
一条件・限界・讓步・樣態

- ☑ 001 インターネットは私たちの社会に大きな影響を与えます。
(鹿児島国際大)

語句 「社会」 society

- 考え方 ▶ 「インターネット」は the Internet で、定冠詞 the をつけ、大文字で書き始める。
▶ 「影響を与える」は influence を使うが、名詞として have an influence のように用いるだけでなく、動詞として用いることもできる。
▶ 「大きな」は influence の品詞によって great か greatly とする。

- ☑ 002 「次のバスは何時に出るかご存じですか」
「はい、4時25分です」 (信州大)

- 考え方 ▶ 現在において確定している予定は現在形で表す。what, when など疑問接続詞によって導かれる名詞節では疑問の内容でも(主語+動詞)の語順になる。
▶ 「はい、4時25分です」は「はい、それは4時25分に出ます」ということ。質問者の「出る」も含め、ここは leave が適当である。

- ☑ 003 おとなしくしていれば、あなたは1週間ぐらいできっと起きられますよ。
(玉川大)

- 考え方 ▶ 「おとなしくする」は未来に関することであるが、条件を表す副詞節では現在形を用いる。
▶ 「おとなしくする」には副詞では quietly を用い、動詞は stay が「横になる、休む」の意味の rest にする。また in bed を加えてもよい。
▶ 「起きられる」には、「病人が床を離れている、(元気になる)歩き回って」という意味の up and around を用いる。
▶ 「1週間ぐらいで」には「時がたてば」の意味の in を用いる。

- 001 ① The Internet greatly influences our society.
② The Internet affects our society very much.
③ **采入訳** The Internet has a great influence on our society.
注 ▶ ①の greatly は strongly でもよい。③の a great influence は a strong effect とも書ける。

- 002 ① “Do you know what time the next bus leaves?”
“Yes, it leaves at four twenty-five.”
② “Do you know when the next bus leaves?”
“Yes, it leaves at 4:25.”
③ **采入訳** “Do you know what time the next bus leaves?”
“Yes. It leaves at 4:25.”
注 ▶ 「次のバスは～」の日本語を「知っているなら教えてほしい」と解釈して、Would you tell me when the next bus leaves? と表現することもできる。

- 003 ① If you rest quietly, you will surely be up and around in about a week.
② If you stay quietly in bed, I am sure you can get up in a week or so.
③ **采入訳** If you rest quietly in bed, I'm sure you'll be up and about in a week or so.
注 ▶ surely, sure はそれぞれ certainly, certain でもよい。
▶ 「おとなしくして」には take it easy (無理をしない) でもよい。
▶ up and around は up and about でもよい (③)。

トピック別発展問題

■ LESSON

- 1 旅行・趣味
- 2 自然・環境
- 3 交通・コミュニケーション
- 4 世界・国際
- 5 教育・学問・読書
- 6 地理・歴史
- 7 健康
- 8 人生・道徳
- 9 言語

- ☑ 001 ハワイは僕がいつか行きたいもう1つの場所です。ここに比べるととても物価が高いと聞いていますけど。(同志社大)

語句 「ハワイ」 Hawaii 「物価」 prices

考え方 ▶ 日本語の第1文の主語は Hawaii だが、第2文はどうか？ 話題は物価ではあるけれども、「聞いていますけど」と言っているのは誰か。

- ▶ 第2文の文末が「～ますけど」となっていることから、譲歩を表す接続詞を用いれば1文で書くことができる (⇒ 145)。
- ▶ 「ここに比べるととても物価が高い」は、何について何と何を比較しているのかを整理してから比較構文を用いて書く (⇒ 082)。

- ① Hawaii is another place that I want to visit sometime, though I hear prices are much higher there than here.
- ② Hawaii is another place that I want to go to someday, though I hear that things there are much more expensive than here.
- ③ **米人訳** Hawaii is another place I would like to go to someday. I've heard, however, that the cost of living is very high compared to here.

- 注** ▶ ②・③のように、「僕が行きたい」に visit (他動詞) ではなく go を用いると go to another place となるので、前置詞の to を忘れないこと。
- ▶ prices (物価) の「高い / 安い」は high / low で表す。*expensive / *cheap ではない。the cost of living (生活費) も同様 (⇒ ③)。なお、②は things there (ハワイのもの) なので expensive (高価な) でよい。
 - ▶ 「ここに比べるととても物価が高い」は、「ハワイの物価がこの物価よりもとても高い」ということ。
 - ▶ ③の分詞構文で省略部分を補うと、(when it [= the cost of living] is) compared to (that [= the cost of living]) here となる。

- ☑ 002 私はアメリカに行くと必ずバスで旅行する。バスで旅をしているとアメリカの広大さがよくわかる。(日本女子大)

語句 「広大さ」 vastness

考え方 ▶ 「行くと必ず～する」は whenever ..., ~ を用いても when ..., always ~ / always ~ when ... の形で用いてもよい (⇒ 135)。

- ① Whenever I go to America, I travel by bus. While traveling by bus, I can see how vast America is.
- ② When I visit America, I always travel by bus. On a bus trip, I can really understand the vastness of the United States.
- ③ **米人訳** I always ride buses when I travel to the U.S. It's possible to really understand the vastness of the country when traveling by bus.

- 注** ▶ 時を表す副詞節に当たる「バスで旅をしていると」だが、①・③のように主節と主語が同じ場合には〈主語 + be 動詞〉が省略される。
- ▶ 「(アメリカの) 広大さ」は the vastness のほかに、①のように how vast America is という名詞節で表現してもよい。